

令和6年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	春日町町会
事業名	春日町まるっと発見プロジェクト

1 令和6年度の実績

[活動実績]

妄想会議の開催と企画の実現

- ・開催回数 4回 ・参加者数 17人（延べ28人）
 - ・妄想会議で出たアイデア数 32アイデア
 - ・妄想会議で出たアイデアの実現数 6企画
- 第4回妄想会議は3月末開催予定のため、未集計

協力者の増加

- ・組織部員数 5名増加
- ・イベント協力者 11名（妄想会議参加者）

2 令和6年度の評価

昨年度開始された新たな取り組みである「妄想会議」が定例化し、継続的に実施されていることは、最大の成果といえます。また、この会議で生まれたアイデアが実現されていること、さらにその実現を支える組織力の高さについても、非常に評価します。参加者が楽しく過ごせる環境を維持することは、継続の鍵となるため、今後も大切にしてください。また、この取り組みは町会の後継者育成にも寄与していることと思います。その観点からも引き続き推進できると良いでしょう。

イベントでは、資金を使わない工夫がされていますが、妄想会議を持続可能な取り組みとするために、企画の有料化も検討してみてください。たとえば、参加費の徴収やイベント実施者に一定の負担をお願いする方法、協力団体のネットワークを広げ、運営費を確保する方法などがあります。長期的な継続には、過度な負担を避けながら着実に進めることが重要です。

さらに、妄想会議は組織の強化にもつながっています。住民が主体となり、町会がサポーターやコーディネーターとして機能する新しい町会の在り方を示すことができました。住民のアイデアを着実に実現できる仕組みが整いつつある現状を踏まえ、町会の将来像を再考する機会としても活用してください。イベントが単発で終わるのではなく、町会の未来につながる運営となることを期待しています。

また、「春日町ほっとスポット」という1年目の取り組みが「大人の春日町ほっとスポット」として発展したことも評価しています。春日町は若年層が多く暮らす地域ですが、今後の課題として高齢化に伴う福祉的ニーズへの対応が挙げられます。妄想会議がその課題解決の場としても機能することを期待しています。

最後に、妄想会議で培ったノウハウや住民主体の取り組みが他の町会にも波及し、新しい町会の在り方として広まることを願っています。これからも活発な活動を通じて、地域をより良くするために邁進されることを期待しています。